

はじめまして！岩手県社会福祉事業団です！！



多彩な職員、多様な仕事を紹介します！①氏名②所属施設③現職名④採用〇年目⑤出身校⑥趣味など ☆まずは、一度、ご覧になりませんか？

- ①神友樹さん
- ②松風園
- ③生活支援員
- ④採用2年目
- ⑤岩手大学



⑥おいしいお店で
大盛りを食べること

■きっかけ

ダウン症の兄がいて、学校や施設での思い出を楽しそうに話す様子を身近に感じ、そのような**笑顔を生み出す立場になりた**いと思ったこと。

■今の仕事は

生活や作業の支援を通じて、関わりを持っていきます。作品と一緒に作ったり、ピアノを弾いたり楽しく健康に生活できるよう考え、**職員も笑顔を大切に**しています。

さらに、日々の支援を記録したり、広報紙作成や行事の準備、会議や研修などデスクワークも多いです。一つひとつが利用者の快適な生活を維持するための要素と感じています。

■ワンクエスチョン♪

Q 1年目に感じたことは？そして今は？

A 社会人1年目でもあり、さらには福祉を専門に学んでいなかったため、自分ではゆっくり焦らずにと感じていました。

しかし、利用者の方が自立しているスキルまで介助してしまったり、ご家族からの問い合わせに「少々お待ちください」としか答えることが出来ないなど『**新人**』が**通用しないことに悩んだり**もしました。

今は、**悩むことも一つの勉強**と謙虚に受け止め成長の糧としていきたいと思っています。

- ①伊藤好宏さん
- ②やさわの園
- ③生活支援員
- ④採用3年目
- ⑤盛岡北高
- ⑥漫画収集



■きっかけ

もともとサービス業をしており、次も人と関わる仕事がしたいと漠然と考えていたこと。**福祉は全く未知の世界でした**が…。

■今の仕事は

生活支援員とは、サービスを利用する方が生活する中で**苦手とすることや困っていることへ支援するのが主な業務**です。具体的には、歯磨きや入浴、食事、排泄などの支援を行います。

また、その方に合った生活の目標と一緒に考えるため、日常から小さな変化を見逃さない注意力が必要とされる仕事でもあります。

■ワンクエスチョン♪

Q **未知の世界に飛び込んで困ったことは？**

A 経験も知識もない状態からのスタートでした。特に、自閉症の方との**コミュニケーション**において、一見すると意味を持たないような**言葉や行動に特定の意味があることに気づくまでは悩み**ました。研修等でも知ることはあったのですが、毎日、**利用者の方と接し、支援を続けること**で初めて実感しました。

また、**先輩職員との会話や会議**などからもヒントを得ることができました。

そのような中から、**経験や知識として身につくものがあるような**気がしています。

- ①後藤咲絵さん
- ②みたけの園
- ③生活支援員
- ④採用1年目
- ⑤盛岡社会福祉専門学校
- ⑥水泳、読書、掃除



■きっかけ

現在の所属施設の**夏祭りへボランティア参加**

■今の仕事は

知的な障がいを持つ方の入所生活の支援と併せて、日中に「就労継続支援B型」というサービス形態を提供しています。具体的には、ガラス製品の製作やスーパーで回収される卵パックの選別やプレス作業等**リサイクル活動を利用者の方の作業として支援を組み立て**ます。

■ワンクエスチョン♪

Q **社会人経験がありますが仕事に対するイメージは変わりましたか？**

A 以前は「決まった枠の中の業務を計画的に進める」というイメージでしたが、**この仕事では「正解がなく自由な発想でどこまでも成長できる」というイメージ**を持っています。

支援する中で、自分の感情と向き合ったり、常に**変化する状況に臨機応変に対応**することにやりがいを感じています。



- ①阿部由比さん
- ②みたけ学園
- ③保育士
- ④採用1年目
- ⑤岩手県立大学
- ⑥歌うこと、朝の連ドラ鑑賞



■きっかけ

当法人**施設での実習**において、日に日に**成長する子どもの姿やそこに寄り添う支援**をする職員の姿を見て自分も携わりたと思ったこと。

■今の仕事は

児童施設は、一人ひとりの出来る事を増やすこと、例えば、**自力での食事、着替え、トイレでの排泄、社会的なルールや他者との関わり等、日々の生活に生きる力を形成**します。

職員は、日勤・早番・遅番・泊まり勤務といったローテーションを組んで支援にあたります。

■ワンクエスチョン♪

Q **学校で学んだこととの違いはある？**

A 障がい特性や必要な対応を学んでいましたがそれはあくまで学びでしかないということです。同じ障がい名を持っていても、違う環境で育ち、性格も違うため、当たり前ですが行動も異なります。

よって、固定された関わりだけではなく、**常に課題意識を持ち、考えることが求められる**と感じるようになりました。

日々の生活にやりがいや張り合いがほしい方、ぜひ一緒に事業団で働きましょう！！

- ①八島久佐子さん
- ②県立療育センター
(病院機能あり)
- ③主任(庶務)
- ④採用26年目
- ⑤生活学園短期大学
- ⑥スポーツ観戦



■きっかけ
学生時代の**施設実習から興味を持つ**。

■今の仕事は
職員の給与・社会保険等の事務や病院部門の材料(医薬品やレントゲンフィルム等)、利用者の方が読む雑誌や絵本、日用品(洗濯洗剤やハンドソープ等)など、**様々な必要品の発注や支払処理を担当**しています。

■ワンクエスチョン♪
Q 利用者支援から、今の仕事に異動となったときはどんな気持ち？
A 最初は、毎日、電卓を叩く仕事に戸惑いました。しかし、**利用者の方が安心して生活を送るためには、適正な収入を確保したり、整備の行き届いた環境づくりや安全な物を選択し、購入したりするような間接的な業務も重要な役割を担っている**と少しずつ意識できるようになってきました。

- ①白梅愛子さん
- ②中山の園
- ③**栄養士**
- ④採用3年目
- ⑤東北女子短期大学
- ⑥スポーツ
家庭菜園、パッチワーク



■きっかけ
募集案内を見て大きな組織でたくさんの方と協力しながらの食事提供に取り組んでみたいと思ったこと。

■今の仕事は
10代から90代といった幅広い利用者(170数名)への嗜好調査や献立作成に取り組み、毎日おいしく楽しい食事を提供することです。

■ワンクエスチョン♪
Q **献立作成や調理で配慮していること**は？
A まずは、**新鮮で旬な食材を選び、真のおいさを届けられるような献立**にすることで。さらに、病気や加齢によって特別食を提供する場合は、常食(健常時の食事)からの展開を基本とし、やわらかく飲み込みやすい食事提供を目指しています。

- ①関知子さん
- ②好地荘
- ③**看護師**
- ④採用6年目
- ⑤県立衛生学院
- ⑥食べ飲み歩き



■きっかけ
総合病院で経験を積むうち、**じっくりと一人の方と向き合いたいという思い**が強くなったこと。

■今の仕事は
利用者の体調管理全般を担当します。病院へ付き添うのはもちろん、日々の**内服薬を管理**したり、**不安な気持ちになっている方のお話を聴く**こともあります。また、**購入するおやつについて健康面からアドバイス**をすることもあります。

■ワンクエスチョン♪
Q **他の職種の方との連携で留意していること**は？
A 事例会議で様々な職種の方と意見交換ができ、刺激を受けます。以前は、安全ばかりへ気が向いて「できないこと」「援助が必要なこと」に着目しがちでしたが、**行政や病院のケースワーカー等と話す中で、「できること」「評価すべきこと」に着目できるようになりました**。

また、初めの頃はいつ利用者が急変するかといった緊張感がありました。今は、**自分一人の力だけでなんとかしようと悩むのではなく、他の職員と連携を取ることが重要だ**と考えています。そのためにも、救急車の呼び方や心肺蘇生の指導も大切な仕事だと感じています。

- ①瀬戸満也さん
- ②好地荘
- ③**施設長**
- ④採用35年目
- ⑤東北福祉大学
- ⑥音楽鑑賞
スポーツ観戦



■きっかけ
ゼミや児童館ボランティアの活動を通して関心が強くなったこと。

■今までの仕事は
新採用の所属地は雪深い県北でした。車が埋もれるほどの雪を初体験し、岩手の広さを実感したことを覚えています。その後、県へ派遣(身体障害福祉)となり、国体等の担当として貴重な経験をしました。初めて主任指導員となった際は、作業工賃アップの取り組みや業者との調整、業務係長となった際には利用者支援に関わる現場の総合窓口として、保護者の方、学校関係者、行政等の関係機関との連絡調整に苦労しました。

現在は、管理者として職場全体の潤滑油的な意識を持ち、運営管理に努めています。

施設運営には経営理念の実現に向け、利用者の方はもちろん、勤める職員、施設がある地域の皆様に「理解」していただく努力が必要と感じています。

■ワンクエスチョン♪
Q **ズバリ、当法人で働く魅力は？**
A 子どもから高齢者、障がいを持った方や生活困窮者の方など、**幅広く、県民の福祉を支える事業**に取り組んでいるところ。職員として、**視野を広げること、専門性を高めることもでき、社会人としての成長を長く支援する法人**であると考えています。

福祉の仕事のおもしろさを知ってほしい！！

どうやったら、伝えられるだろう・・・と考えながら、私たちの仕事を紹介しました。

よくわからないけど、なんだかおもしろそうかも？と思ったあなた♪やってみなければ、わからないこともたくさんありますよ。

ぜひ、いらしてみませんか??



【作成:岩手県社会福祉事業団 事務局人材育成室】

TEL 019-662-1548 FAX 019-662-0686 メール ikusei@iwate-fukushi.or.jp